



シリーズ

追跡指令

気になる！一般質問のその後！！

今回の指令

移住定住促進の取り組みのその後を追跡せよ！！

県内でもトップクラスの移住者数を数える本市。平成30年第3回定例会における一般質問において、移住・定住の増加を図るためのニーズに応じた支援について説明を求めたところ、中村市長より「平成30年度中に、移住・定住促進計画を策定し、4年間で400人の受け入れを旨とする」との答弁が行われた。

今回は、「移住・定住促進の取り組み」のその後を追跡し、報告せよ！！



移住定住促進の取り組みに関する追跡調査報告書

中村市長の答弁後の平成31年3月には、「天草市移住・定住促進計画」が策定され、本市の移住・定住の明確な方針が示されました。

本市では、移住・定住にかかる取り組みを開始した平成20年度から本年3月末までの間に、341世帯、665人の移住者を受け入れているところです。平成27年度からは、本市への移住者を市の「移住・定住コーディネーター」として任用(現在3人)し、移住希望者のニーズ把握ときめ細かな相談体制を整備したことで増加が著しく、特に、平成29年度と平成30年度は年間100人を超える多くの方々に、本市を移住先として選んでいただいております。

また、年に2回開催されている移住者交流会の参加者を対象に実施したアンケート調査によると、本市へ移住する決め手として「住居に関する支援があったこと」が約半数を占め、続いて「地元の方の紹介があったこと」が3割を占めています。

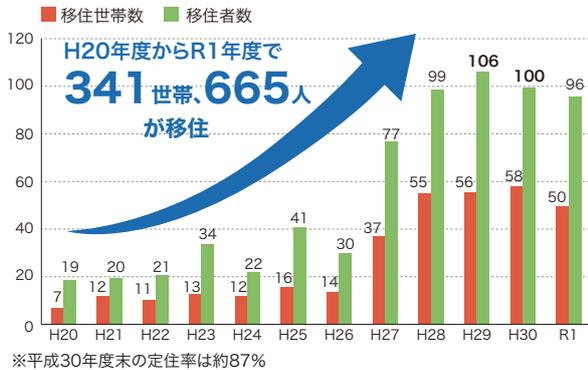


▲東京での移住相談会のようす

このことは、県内でもいち早く空き家バンクに取り組んだことや、地域が移住者を温かく受け入れる雰囲気醸成されているあらわれです。

「天草市移住・定住促進計画」では、天草で見つけた自分らしい暮らし「あまくさライフ」を基本理念として、「住まい」「仕事」「暮らし」「情報」の4つの柱のもと、令和元年度からの4年間で、新規の問い合わせ件数1,200件、移住者数400人の目標が掲げられています。目標達成に向けて、関係部署が連携を図りながら、着実に取り組みが進められていました。

【移住世帯数の推移】



編集後記

先日、私が大好きな芸人さんが、新型コロナウイルスによる感染症で亡くなられました。本当にショックで、改めて怖いウイルスであると思いました。目に見えない敵でもあるコロナウイルスの影響は計り知れません。

学校の臨時休校など大きな影響が出ているなか、デマでトイレトペーパーがなくなるなどの状況も起きています。皆さんが不安になるようなデマは、本当に迷惑で困ります。また、マスク詐欺などもあるようです。

ぜひ、天草市の安心安全メールの登録をしていただき、正確な情報を知り、冷静な判断と行動をとっていただきたいと思います。

(柴田 誠)



天草市安心安全メール

蓮池良正

副委員長
下田昇一郎

委員長
柴田 誠

広報広聴委員会

門口 徹

五通俊作

鶴戸継啓

濱洲大心